

地区名 能代市・山本郡

所在地 山本郡八峰町峰浜小手萩

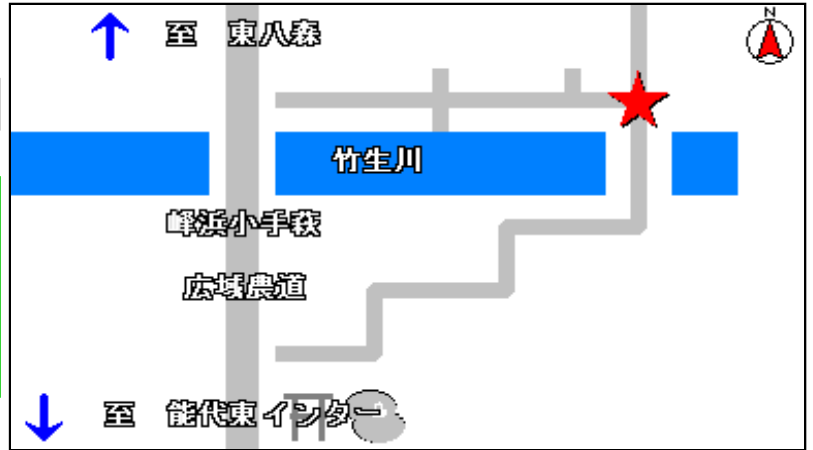
バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

能代東インターから八峰町方面に向かう広域農道を進むと、峰浜小手萩地区に点在する露頭が見えてくる。

安全上の留意点



露頭に向かうまでの道が狭く、大きなバスの進入は難しい。近くで児童を降ろして現地まで歩いた方がよい。また、露頭が小さく大人数での観察には不向き。見た感じだと一度に活動できるのは3~4人というところ。露頭は農道沿いにあるので交通事故には気をつけさせたい。

観察のポイント

- ① ほぼ砂や泥だけが堆積していること。
- ② 地層の所々に、角の取れた丸い礫が入っていること。
- ③ 角ばった火山岩が見あたらないこと。

地質年代

第四紀更新世後期(1~15万年前)

解説

段丘堆積物(潟西段丘)と見られ、この付近の小高い丘は段丘である。砂や泥が堆積しており、円礫が見られることから「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。円礫は風化が進んでおり、手に取ると崩れてしまうくらいに柔らかい。

また、この露頭は小さいので、付近の民家裏手にある大きな露頭を観察する許可をとった方が観察には適していると思われる。(近辺に数カ所の露頭を確認している)
(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



水平に堆積したと思われる層がはっきりとは見られない。地層面に触れると、砂や泥でできていることが分かる。手でも掘れるくらいに柔らかい。



地層の所々に白く丸い礫のあとのようなものが見られる。



中には、礫の形をとどめているものもあり、取り出そうとしたところ崩れてしまった。そのくらいに風化が進んでいる。